

丹波篠山市桜ビジョン検討委員会第3回会議 会議録

記録：商工観光課

■開催日時

令和6年2月15日（木） 19時00分～21時00分

■開催場所

丹波篠山市民センター 催事場1・2

■出席者

委員 10名

酒井克典委員長、小山雅充副委員長、森正樹委員、吉良勉委員、
山田俊朗委員、上田康雅委員、雪岡のり子委員、松浦由美委員、
西尾雅子委員、山本幸雄委員

オブザーバー4名

畑敏幸丹波土木事務所所長補佐、清水夏樹農都環境政策官、
古谷重樹地域整備課課長補佐、村上由樹文化財課長

事務局等3名

波部正司観光交流部長、酒井誠商工観光課長、岡佳巳商工観光課係長

■欠席者

畑弘恵委員

■傍聴者

0名

■会議の要旨

以下のとおり

1. 開会

2. 委員長あいさつ

3. 報告事項

事務局

(資料1に基づき説明)

篠山城跡、産業高校前など、かなりひどい状態であった。
邪魔になる枝を切除するにしても、切り方や切る時期が重要である。枯れ
枝を切除する場合でも、枯れてしまった後では殺菌剤をぬっても巻き込まな
い。生きている間に枝を切る必要がある。

桜の整備だけではなく、有居のように地域で桜を活用していくことがビジョンで目指していくところではないか。

川沿いなどに植えられている桜を地域で整備する場合に必要な届出があるのかなど、理解がされておらず手を出しにくいのではないか。

事務局

河川敷や公道沿いにある桜について、手入れをしていただく際に必要な届出はない。適切な処置が行えるのであれば、邪魔な枝、枯れた枝などは積極的に手入れしてもらいたい。

桜は誰が管理しているのかが不明確な部分がある。植えた方が責任をもって管理してもらうことが大切である。管理においても適切な剪定の仕方があるので、技術を学ぶ機会を広げていく必要があると思う。

前回の視察に参加して、遠目にはきれいに見える桜でも、状態が悪いことを実感した。桜ビジョンで何とかしないと先々大変なことになると感じた。観光協会内でも情報共有し、関与できるようにしていきたい。

桜の知識がつくほど、その見方が変わってくる。前回の視察により実際の状況を現場で知ることが大切だと感じた。

商工会青年部では2月に篠山城跡周辺、細工所からの国道沿いで桜の整備とてんぐ巣病対策実施した。枝を切った際に、どれくらいの太さなら処置が必要なのかという疑問の声があった。

小指程度なら処置は必要ない。それより太いものは処置をしておいた方がよい。

桜の手入れに必要な技術をどのように伝えていくか、技術支援的なものをビジョンの中に入れていく必要がある。

資料では城跡について、市の所管部署が明確でないというところがある。管理者を明確にすることはできないのか？

事務局

桜協会からも篠山城跡の桜の将来ビジョンについて申入れがあった。正確には、管理区分が分かれているということである。桜協会からは城跡の桜について、窓口を一本化してほしいという申入れであり、市としても明確にしていきたいと考えている。

桜協会では、3月にクラウドファンディングの寄附をもとに城跡の桜の手入れを実施する。これに先立ち、造園協会が城跡の桜の詳細な調査を実施し

ていただいた。今後を見据え、城跡の桜を含めた植栽をどのように管理していくのかという申入れを行った。ビジョンの中でも入れておくべきだと考えている。

桜の手入れの仕方を一般に知らせてほしいという意見ごもっともだと思う。桜協会では桜守養成講座を実施しているが、それ以外でもSNS、広報など、いろいろな媒体を使って知らせていく必要がある。その方法について、この検討委員会でも議論していく必要がある。

産業高校前の桜など、車で通っていたら気づかないが、近くで見ると状態の悪いのがよく分かった。西吹の篠山川沿いも風の通り道で状態が悪い。自治会で実施してもらうが基本であり、これまで桜協会としては積極的に整備ができていなかった。

桜協会がこれまでから行ってきた地域で活動する桜守の育成や、「桜めぐり」のような市内の桜の名所を知り、桜に関心を持ってもらう活動は重要であると思う。

これからビジョンを検討するうえで、ご提案いただいたような意見を取り入れていきたい。

4. 協議事項

(1) 桜ビジョンの策定に向けた検討

事務局

(資料2に基づき説明)

市の木の指定では「サクラ」とカタカナ表記となっているため、この資料では、「サクラ」としている。

「基本構想」の項は、「桜ビジョン」において重要な部分である。また、その他の項目においても、入れた方がよい項目など、委員の皆さまからご意見をいただきたい。

なお、お示ししているのは事務局の案である。話し合いの現在地を確認していただくためにこの段階でお示ししている。「桜ビジョン」は、委員の皆さんの自由な意見により検討を進めていきたいと考えているため、この案にこだわることなく、広くご意見をいただきたい。

「桜ビジョン」は、当初令和5年度中の策定を目標としていたが、市長の意向もあり、令和6年度も引き続き検討していくことになる。次回以降につながるよう、いろいろな意見をいただきたい。

理念について、観光や関係人口などに活用していくことを提案できればよいと思う。

観光協会では観光案内をする際には、レンタサイクルで行けるところ、自家用車やバスの駐車場のあるところなどの制約がある。

桜を将来につないでいくためには、木の更新も必要であると思う。

桜は全国どこにでもあり、ほとんどがソメイヨシノである。いろいろな地域に桜がある中で、丹波篠山がすごいといっても難しい。歴史や篠山城跡などの名所、石垣と桜が一望できるのは特徴的である。桜の名所づくりを含めて検討していければよい。

アグリステーションでは、まちづくり協議会の方から桜の塩漬けのレシピを提供していただき、子どもと一緒に作っている。篠山桜スイーツのようなものの商品化もよい。

歴史や日本の心といったものも大切だが、若い世代には遊びや映えが受け
る。家族連れであれば子どもと写真、食がセットでバランスよく達成できた
ときに、桜を大切にしたいという気持ちが育まれるのではないと思う。

名所や名木にQRコードを付けて、それを読み取れば音声と映像が映るような仕組みもある。スマホなどの技術を活用していく時代に入っていると思
う。金銭、人材が必要だが、若い人にも関心を持ってもらうための仕組みと
して検討していく必要がある。

児童、子どもの人材育成を大切にしていきたい。学校での桜の授業もよい
し、卒業記念の植樹も思い出に残る。

一緒に地域で働いて宴ができるような関係性をつくるのが大切だと思
う。そのためには、地域でどのような活動をしていただいたらよいのか。あ
わせて考えていければよい。

基本構想、理念について、市ではワクワクをアピールされている。その他、
入れた方がよいキーワードなど、意見をいただきたい。

事務局 (出された意見等をホワイトボードに記載)

日本一など、本数を争っても仕方がない。丹波篠山市独自の、オンリーワ
ンの構想としてつくった方がよい。

事務局 いただいた意見を組み合わせて、次回提案できるよう事務局で検討する。

「桜ビジョン」の全体構成をイメージしてもらおううえで、伊那市高遠の計
画が参考となる。ビジョンを事務局から送付してもらおうので、参考にしても
らいたい。

今後のスケジュールについて、後ほど事務局から説明があるが、今後は先
ほど確認いただいた資料2の全体構成の項目に沿ってご意見をいただくこと

になる。しかし、項目の中でも「市内の桜の状況」や「課題」「維持管理方法」については、桜に関する専門的な知見が必要である。これらの項目については、主に小山副委員長、吉良委員、桜協会でも別途機会を設けて意見を出し合っただろうかと考えているがいかがか。

委員 (異議なし)

それでは、小山副委員長、吉良委員、桜協会の皆さんは事務局から別途声がかかっているので、協力をお願いします。

5. その他

今後のスケジュールについて

事務局 当委員会は当初、令和5年度中の3回の会議でビジョン案を取りまとめる予定としていたが、慎重な検討を必要するため、令和6年度も引き続きご検討いただきたいと考えている。

(次第「5. その他」に基づき今後のスケジュールを説明)

兵庫県の桜保全に係る令和6年度予算について

丹波土木 丹波地域ではささやま桜協会などにより、桜の保全活動にご尽力いただいているため、県民局としても何らかの形で支援できないかと検討してきた。令和6年度、桜協会など地域の桜の保全活動をされている団体への補助制度を新設し、支援していきたいと考えている。

補助金はヤマザクラにも使えるのか？

丹波土木 桜づつみ回廊に関するものを対象とする予定であるが、桜の整備だけではなく、桜守養成講座などの人材育成活動にも使えるように市と調整していきたい。

6. 閉会